

株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
 定時株主総会 3月
 基準日
 定時株主総会 12月31日
 期末配当金
 中間配当金 6月30日
 (中間配当を実施する場合)
 その他 必要ある場合は、取締役会の決議により、
 あらかじめ公告いたします。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 東京都府中市日鋼町1-1
 電話 0120-232-711 (通話料無料)
 郵送先 〒137-8081
 新東京郵便局私書箱第29号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

単元株式数 100株
 公告の方法 電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
 公告掲載URL
https://www.tok.co.jp/company/public_notice.html
 上場取引所 株式会社東京証券取引所 市場第一部
 証券コード 4186

ご注意

- 株主様の住所変更、単元未満株式（100株未満の株式）の買取請求その他各種手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。なお、株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取り扱いさせていただきます。
- 未受領の配当金につきましては、当社定款の規定により、支払開始日より満3年を経過いたしますと配当金をお受け取りいただけませんので、お早めに最寄りの三菱UFJ信託銀行本支店でお受け取りください。

株式に関するお手続きについて

特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> ■特別口座から一般口座への振替請求 ■単元未満株式の買取・買増請求 ■住所・氏名等のご変更 ■特別口座の残高照会 ■配当金の受領方法の指定（注） 	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
<ul style="list-style-type: none"> ■郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ■支払期間経過後の配当金に関するご照会 ■株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	株主名簿管理人 手続き用紙のご請求方法 <ul style="list-style-type: none"> ■ご請求 電話 0120-232-711 (通話料無料) ■インターネットによるダウンロード https://www.tr.mufg.jp/daikou/

(注) 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として「株式数比例配分方式」はお選びいただけません。

証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> ■郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ■支払期間経過後の配当金に関するご照会 ■株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
<ul style="list-style-type: none"> ■上記以外のお手続き、ご照会等 	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

新型コロナウイルス感染症への取り組み

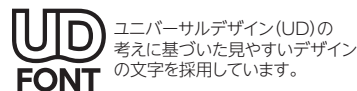
新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様と不安で辛い日々を過ごされているすべての皆様に心よりお見舞い申し上げます。

当社グループは新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止に向けて、テレワーク勤務や安全予防策などの各種対応を実施したうえで、製品の生産、供給を継続しております。また新型コロナウイルス感染症対策にお役立ていただく事を目的に、国内拠点が所在する地域自治体へ義援金を寄付いたしました。

感染拡大防止策や治療などに日々ご尽力されている関係者の皆様には深い敬意と謝意を表するとともに、皆様のご健康と、一日も早い終息をお祈り申し上げます。

tok 東京応化工業株式会社

〒211-0012 神奈川県川崎市中原区中丸子 150 番地
 電話 044-435-3000 (代表)



第91期 中間報告書

2020年1月1日～
2020年6月30日

証券コード4186

豊かな未来、社会の期待に化学で応える
tok 東京応化工業株式会社



代表取締役 取締役社長

種市 順昭

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第91期第2四半期連結累計期間(2020年1月1日から2020年6月30日まで)の業績および当社グループにおける今後の取組みにつきましてご報告申し上げます。

第91期第2四半期における市場環境および当社の業績について

当上期における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行に伴い、経済活動が抑制され景気が落ち込みました。このような情勢の下、当社グループは、2021年度を最終年度とする3カ年の中期計画「tok中期計画2021」の諸施策を推進し、成長軌道への回帰を目指しております。

当上期のエレクトロニクス産業においては、テレワークや巣ごもり需要の増大などによる追い風もあり、パソコン、データサーバー向け半導体需要は堅調に推移いたしました。このような市場環境を受け、主にアジア地域を中心に高付加価値製品である半導体材料および高純度化学薬品が好調に推移したことにより、材料事業においては、売上は前年同期を大幅に上回りました。また、装置事業におきましても、出荷済み装置の検収が進んだことから、売上は前年同期を上回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は572億3百万円(前年同期比16.9%増)となりました。

材料事業の利益面は、KrF(フッ化クリプトン)フォトレジストやパッケージ材料などの高付加価値製品や台湾向け最先端半導体製造プロセスに使用される高純度化学薬品の売上増加による増益効果が36億円ありました。このため、当上期の材料事業の営業利益は前年同期に比べ27億66百万円の増益となる91億90百万円(同43.1%増)になりました。

一方装置事業は、前年同期に比べ23百万円下回り、2億94百万円の営業損失となりました。

このため、当上期の営業利益は、66億64百万円(同50.5%増)となりました。

また、経常利益は67億85百万円(同54.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は46億39百万円(同58.7%増)となりました。

通期の見通し

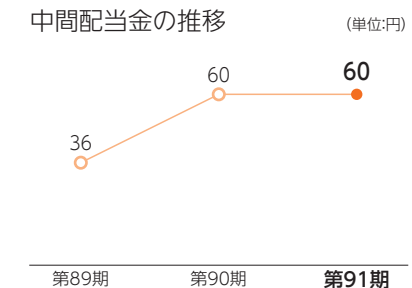
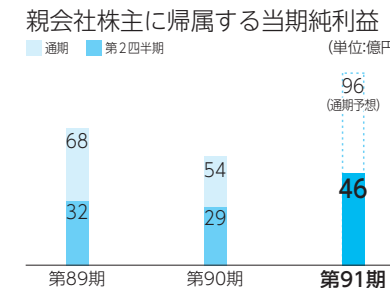
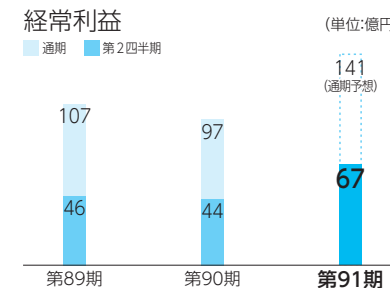
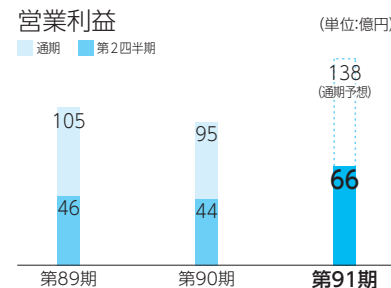
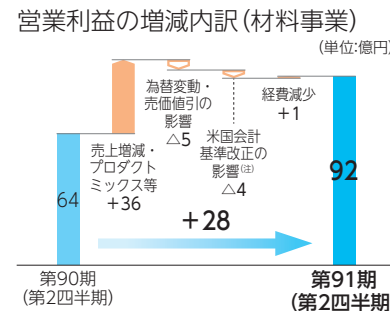
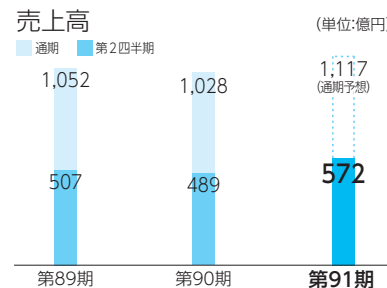
下期は新型コロナウイルスの影響による先行きの不透明さはあるものの、通期の連結業績に関しましては、今上期の業績および今後の市場状況の見通しから期初予想数値を上回る見通しであるため、業績予想の修正を行いました。その結果、売上高は前年比89億円増加の1,117億円を予想しております。また、営業利益については、全社費用は増加するものの、下期も増益基調は続くと考えており、前年比43億円増加の138億円となり、売上高・営業利益ともに過去最高を更新する予想です。

今後も、株主の皆様のご期待に応えられるようグループ一丸となって邁進してまいりますので、株主の皆様におかれましては、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

配当金

当期の中間配当金につきましては、前中間配当金同様に1株当たり60円とさせていただきます。

財務ハイライト



(注) 米国会計基準を採用している在外連結子会社において、ASC第606号「顧客との契約から生じる収益」を前連結会計年度より適用していますが、第90期(第2四半期)実績は当該改正の影響を受けていません。

TOKグループの新たな長期ビジョンを策定しましたのでお知らせいたします。

経営ビジョン

豊かな未来、社会の期待に化学で応える
“The e-Material Global Company”

Electronic Materialを通して未来への価値創造に貢献していく

次世代通信規格5G^{*1}の実用化から始まる通信革命によって、私たちの生活環境は大きな変化を迎えようとしています。自動運転や遠隔医療などの実現には、半導体は必要不可欠です。当社のフォトレジストに代表されるElectronic Materialは、半導体製造に欠かすことのできない材料として、日本のみならず世界中で使用されています。今後も高品質・高付加価値なElectronic Materialを提供することで、新たな価値を生み出す半導体産業の一翼を担ってまいります。

この度、今後の活動を未来起点で考え、進む方向を定めた“羅針盤”として、2030年に向けた経営ビジョン「豊

かな未来、社会の期待に化学で応える “The e-Material Global Company”」を目指して推進してまいります。

このビジョンは、TOKグループが将来100年企業へと継承していく礎になるものです。これからもこの実現に向けて邁進するとともに、新技術にチャレンジし、さらに技術を磨くことでSHINKA (進化・深化・新化) を続け、社会の期待に化学の力で応えてまいります。

※1 第5世代移動通信システム

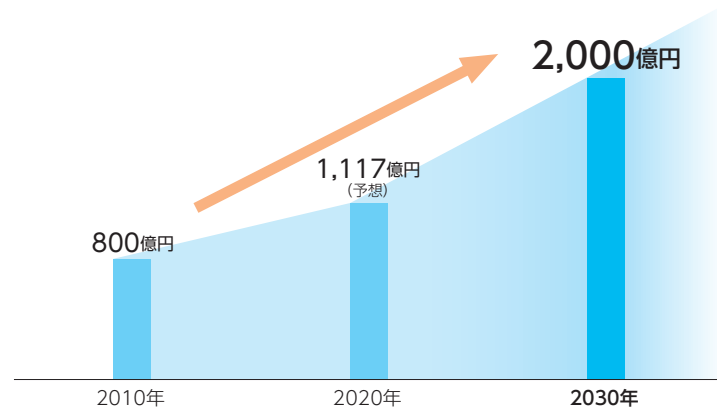
https://www.tok.co.jp/ir/library/Medium_term_plan



(長期ビジョン・中期計画)

成長イメージ

	2020年	2030年
売上高	1,117億円 (予想)	2,000億円
EBITDA	204億円	450億円
ROE	6.5%	10%以上



特集

豊かな未来、社会の期待に化学で応える tok の技術

5Gの普及がすすむと我々の未来と社会はどう変化するのでしょうか？ 5Gが本格的に実用化されると膨大なデータが活用できるようになり、さまざまな技術革新や新サービスの誕生が予想されています。

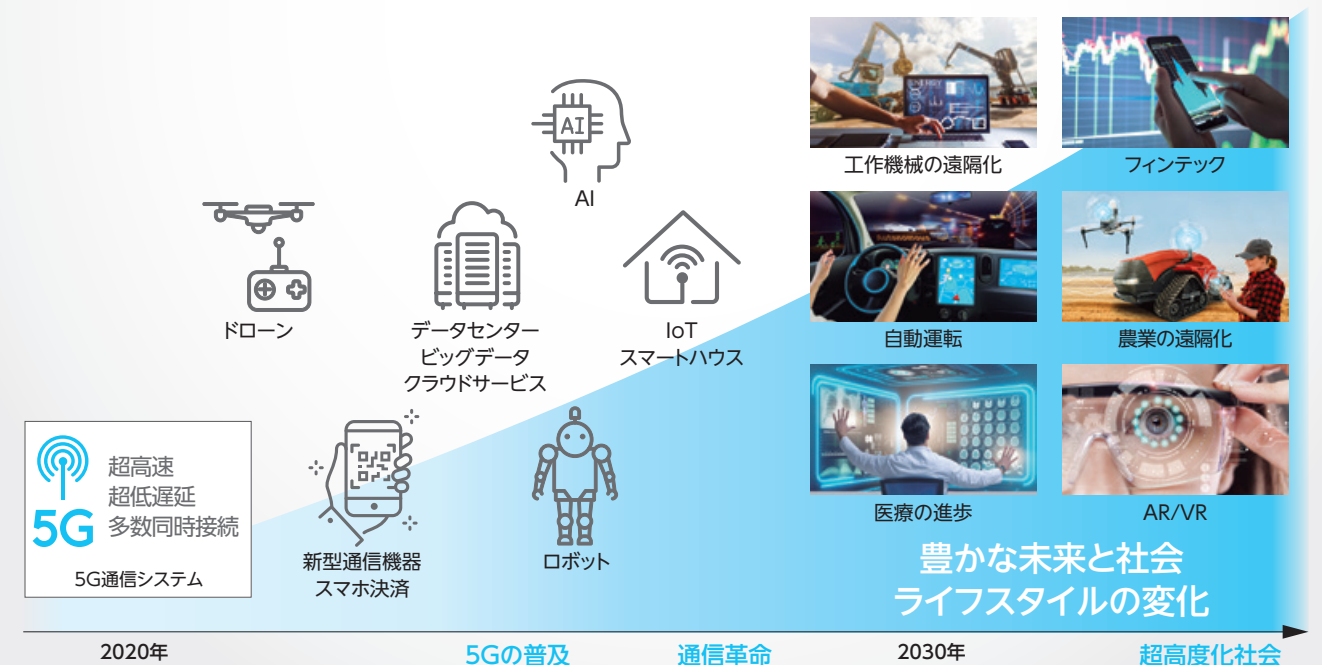
これまでもIT^{*2}の進歩によって、IoT^{*3}やAI^{*4}が実用化されてきました。10年後は通信革命(情報通信技術の進歩)によりますますデータの活用がすすみ、フィンテック^{*5}の発展のほか、産業、健康、医療、教育、経済活動、公共サービス等の幅広い分野と人々の働き方、ライフス

スタイルまでも変化した超高度化社会が到来すると考えられています。

このような豊かな未来と社会は通信革命により実現していきます。この実現には半導体素子やセンサーなどの電子部品の進化が欠かせません。東京応化はこれからも化学の力で期待に応え、この進化を支えていきます。

※2 情報技術 ※3 モノのインターネット ※4 人工知能
※5 ITを駆使した金融商品やサービス

TOKを取り巻く豊かな未来と社会

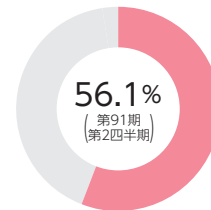


材料事業

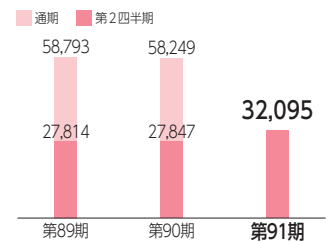
エレクトロニクス
機能材料部門



部門別売上高構成



部門別売上高推移 (単位:百万円)



部門別売上高 **32,095**百万円

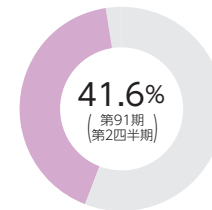
エレクトロニクス機能材料部門の売上高は、前年同期を上回る320億95百万円(前年同期比15.3%増)となりました。

ディスプレイ用フォトレジストにおいて、スマートフォン市場の低迷を受けて売上が減少したものの、データサーバー向けなどで半導体需要が堅調に推移したことにより、韓国・台湾地域において半導体用フォトレジストや、高密度実装材料の売上が前年同期を大幅に上回ったことが主な要因です。

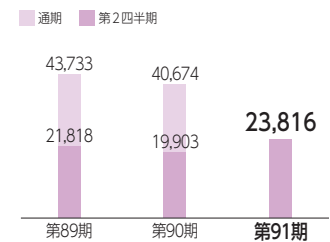
高純度化学薬品
部門



部門別売上高構成



部門別売上高推移 (単位:百万円)



部門別売上高 **23,816**百万円

高純度化学薬品部門の売上高は、前年同期を上回る238億16百万円(同19.7%増)となりました。

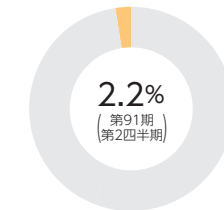
これは、ディスプレイ用フォトレジスト付属薬品において、ディスプレイ市場の縮小から販売が低迷し、売上高が減少したものの、台湾向けの最先端半導体製造プロセスに使用される半導体用フォトレジスト付属薬品の販売が好調に推移したことが主な要因です。

装置事業

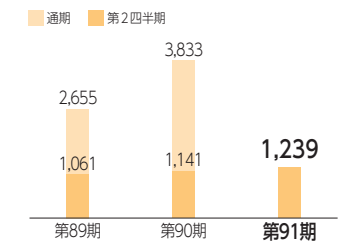
プロセス機器
部門



部門別売上高構成



部門別売上高推移 (単位:百万円)



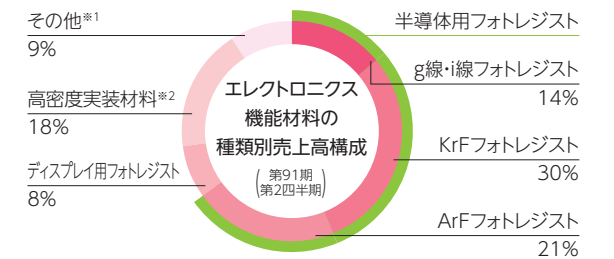
部門別売上高 **1,239**百万円

プロセス機器部門の売上高は、前年同期を上回る12億39百万円(前年同期比8.6%増)となりました。

これは、出荷済みのウエハハンドリングシステム「ゼロニュートン®」やプラズマアッシング装置の検収が進んだためです。

エレクトロニクス機能材料の
種類別売上高構成

堅調な半導体需要に支えられ、高付加価値製品であるKrFフォトレジストや高密度実装材料が主にアジア地域を中心に売上高を伸ばしたことで、両製品の売上高構成が上昇しました。一方で、スマートフォン市場の低迷を受けたディスプレイ用フォトレジストは売上高が前年同期を下回ったことから、売上高構成は減少しました。



※1 EUVフォトレジストはその他に区分。
※2 高密度実装材料:パッケージ材料、MEMS材料。

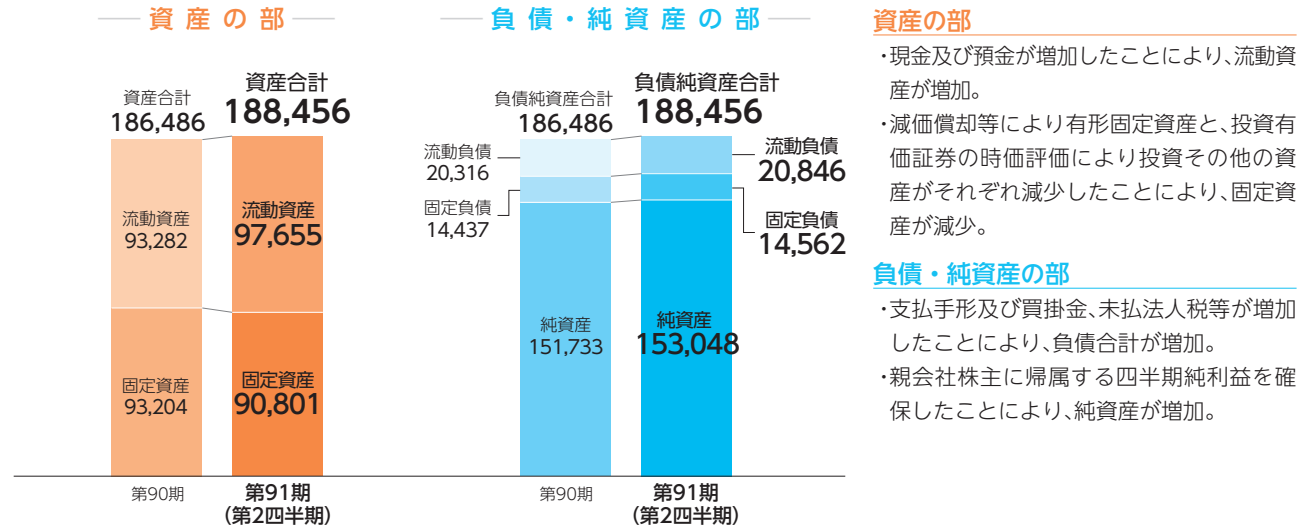
本業を通じて達成に取り組む
SDGs目標

当社グループが提供する各種高付加価値製品は、国連が2015年に定めた持続可能な開発目標(SDGs)の達成に寄与しています。



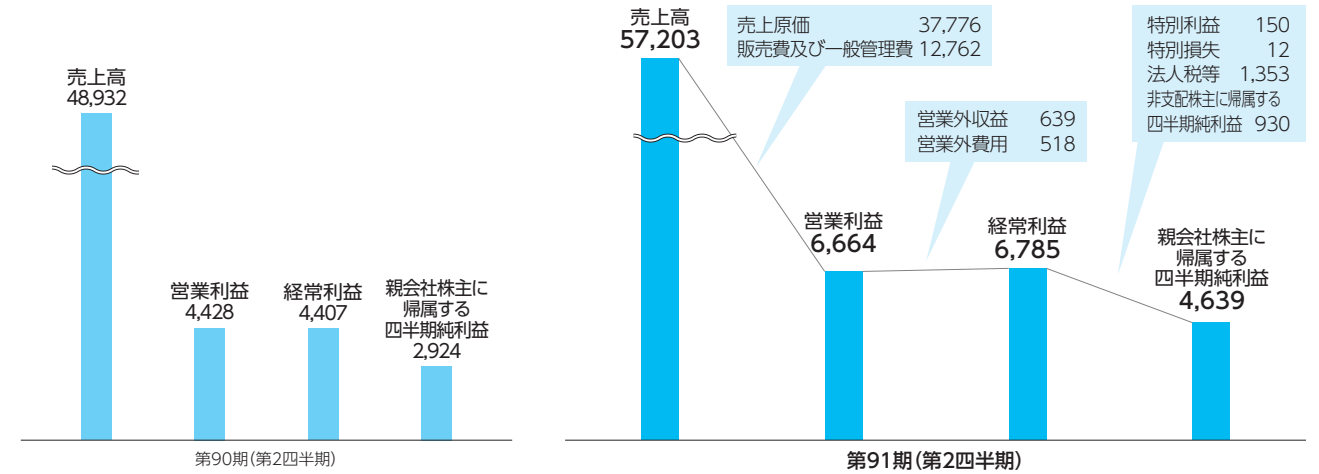
連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



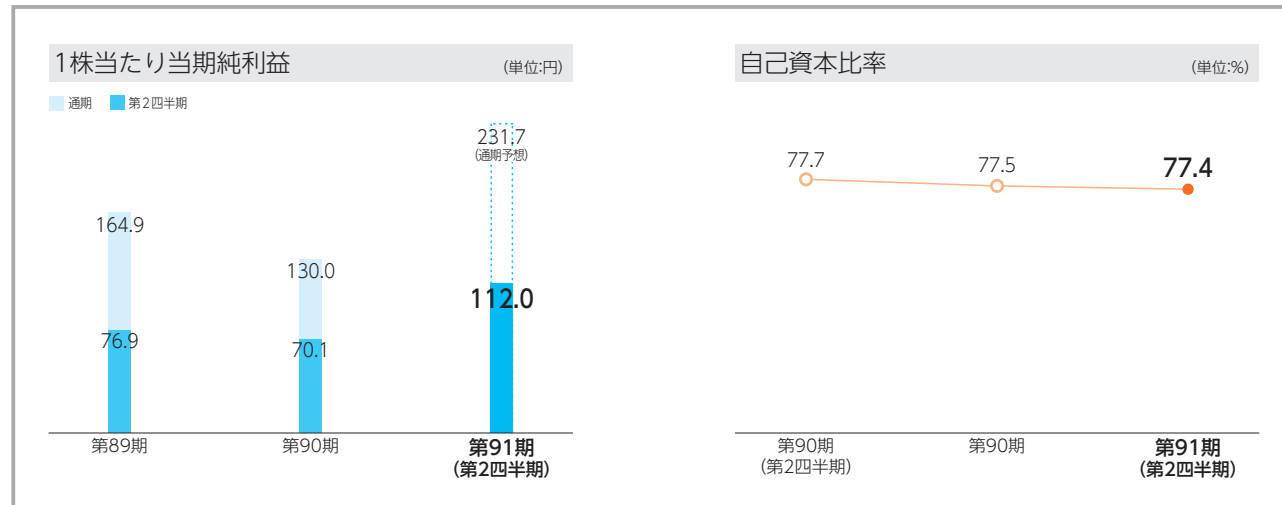
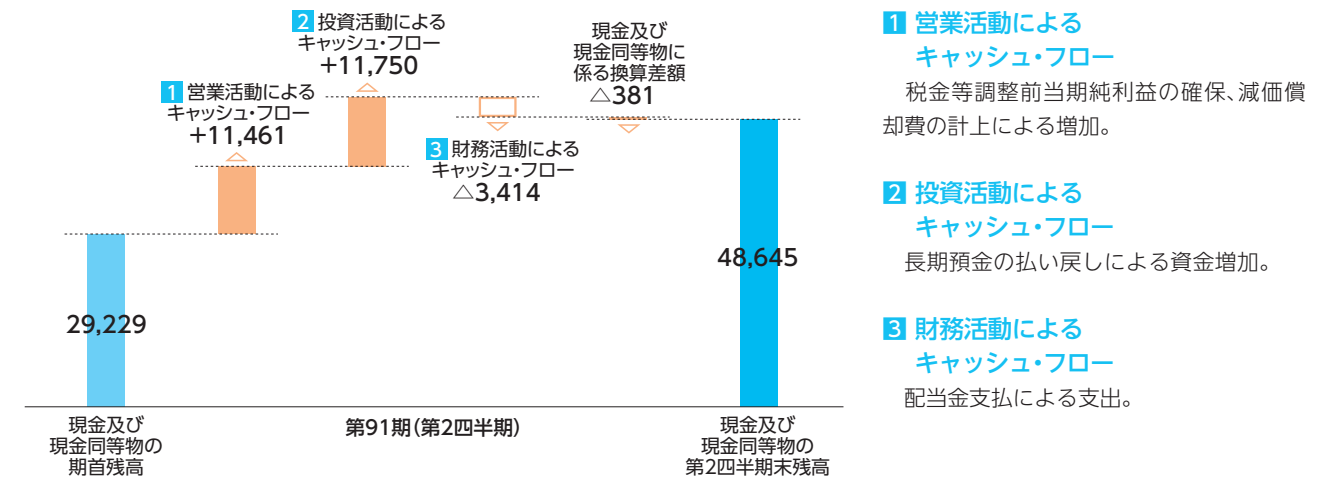
連結損益計算書の概要

(単位:百万円)



連結キャッシュ・フローの概要

(単位:百万円)



TOKの企業価値

インテル コーポレーションから
「プリファード・フオリティ・サプライヤー (PQS) 賞」を受賞

当社グループは、世界的な半導体メーカーであるインテル コーポレーション(米国カリフォルニア州)から栄誉あるPQS賞を受賞しました(6度目)。これは、当社グループが提供する高品質なフォトレジストおよび現像液や洗浄液などの高純度化学薬品の卓越した技術、品質、供給体制および環境面、社会性、ガバナンスでの取組みが高く評価されたものです。

これを励みとし、今後もさらに技術や品質の向上に取り組み、ステークホルダーの期待に化学の力で応えてまいります。



2020年版「グローバルニッチトップ企業100選」に認定

当社グループは、経済産業省が認定する2020年版「グローバルニッチトップ企業100選(電気・電子部門)」に認定されました。これはニッチ分野の国際市場開拓に取り組む企業の中から、国際性、戦略性、競争優位性、収益性の差別化を行い、高い実績を上げている企業を認定・表彰するものです。



国内外の半導体メーカー向けの最先端半導体製造用フォトレジストや高純度化学薬品といった新規製品やサービスの継続的な提供と取組みが評価され、前回(2014年認定)に続き2度目の認定です。この認定を励みに、今後もより一層、半導体製造用化学薬品の国際市場開拓に努めてまいります。

TOKのIR活動

「日経アニュアルレポート
アワード2019 特別賞」を受賞

当社グループの事業活動をステークホルダーの皆様により深くご理解いただくための冊子「統合レポート2018」が、日本経済新聞社の主催する「日経アニュアルレポートアワード2019」において「特別賞」を受賞しました。また本冊子は、GPIF*の国内株式運用機関が選ぶ「優れた統合報告書」と「改善度の高い統合報告書」にも選定されました。

最新の「統合レポート2019」はウェブサイトに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

*年金積立金管理運用独立行政法人



<https://www.tok.co.jp/ir/library/annual>

株式の概況／会社概要 (2020年6月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	197,000,000株
発行済株式の総数	45,100,000株 (自己株式3,339,333株を含む)
株主数	5,484名

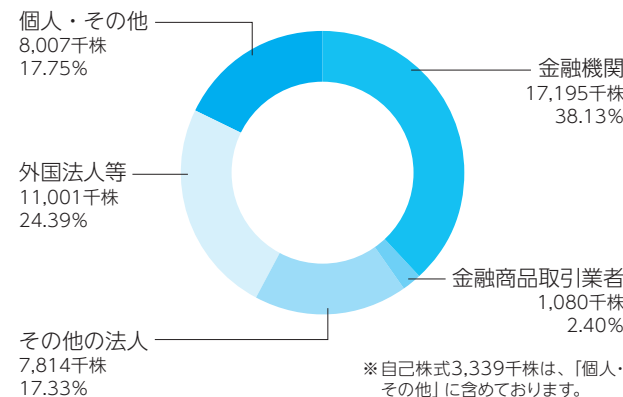
大株主(上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,738	8.95
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,134	7.51
明治安田生命保険相互会社	1,826	4.37
MLPFS CUSTODY ACCOUNT	1,469	3.52
株式会社三菱UFJ銀行	1,207	2.89
日立化成株式会社	1,069	2.56
株式会社横浜銀行	1,026	2.46
公益財団法人東京応化科学技術振興財団	984	2.36
三菱UFJ信託銀行株式会社	953	2.28
三菱UFJキャピタル株式会社	860	2.06

※1 当社は、自己株式を3,339千株保有しておりますが、上記大株主から除いております。
※2 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式を除いた株式数(41,760,667株)を基準に算出しております。

※3 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社は、2020年7月27日付でJTCホールディングス株式会社および資産管理サービス信託銀行株式会社と合併し、株式会社日本カストディ銀行となっております。

所有者別株式分布状況



会社概要

社名	東京応化工業株式会社 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.
設立	1940年10月25日
資本金	14,640,448,000円
従業員数	1,758名(連結) (当社グループから当社グループ外への出向者および嘱託者を除く)
本社所在地	〒211-0012 神奈川県川崎市中原区中丸子150番地 電話044(435)3000(代表)

役員

取締役および監査役				
代表取締役取締役会長	阿久津	郁夫	昭俊	
代表取締役取締役社長	種市	順洋	俊一	
取締役	佐藤	晴洋	一雄	
取締役	柴水	木國	一雄	
取締役	村上	裕一	嗣子	
取締役	栗本	弘典	夫生	
取締役	関柳	和信	一政	
常勤監査役	徳深	田一	浩一	
監査役	高橋	浩一	一郎	
監査役	竹内	伸行		

(注) 1 取締役栗本弘典氏、取締役関柳和信氏、取締役一柳和信氏は、社外取締役です。
2 監査役深田一政氏、監査役高橋浩一郎氏、監査役竹内伸行氏は、社外監査役です。

執行役員

※執行役員社長		種市	順洋	昭俊
※専務執行役員	開発本部長	佐藤	晴洋	俊一
※専務執行役員	経理財務本部長	柴水	野浩	一雄
※専務執行役員	台湾東應化股份有限公司 董事長兼總經理	入水	木國	一雄
※常務執行役員	総務本部長	土井	宏介	
※常務執行役員	営業本部長	村上	裕一	
※執行役員	材料事業本部長 TOK尖端材料株式会社 代表理事社長	村本	川司	樹泰
執行役員	プロセス機器事業本部長	渡邊	直樹	
執行役員	営業本部 副本部長	金鳴	基裕	介
執行役員	TOK尖端材料株式会社 代表理事副社長	山本	浩	
執行役員	新事業開発本部長			
執行役員	経営企画本部長			

(注) ※印を付した執行役員は、取締役を兼任しています。